

姫路市水道ビジョン 施策目標に係る指標値（令和3年度実績）

(1) 強靱：災害に強く安定した「強靱」な水道

①施設・管路の計画的更新と耐震化

指標	意味	R1	R2	R3	中核市平均 (R2)	ビジョン計画値		目標 (年度)	算式
						前期 R2~R6	後期 R7~R11		
管路老朽化率 (老朽管延長)	管路老朽化の状況	25.1% (746,088m)	27.0% (805,027m)	31.0% (926,663 m)	23.2%	33.2%	39.8%	45.5% (R16)	法定耐用年数を経過した管路 延長÷管路総延長
管路更新率	管路の老朽化対策	0.64%	0.58%	0.49%	0.71%	0.80%	0.88%	1.00% (R16)	管路更新延長÷管路総延長
浄水施設耐震化率	浄水施設耐震化状況	11.6%	11.6%	11.6%	37.2%	11.6%	54.8%	81.0% (R51)	耐震化能力÷全施設能力
配水池耐震化率	配水池耐震化状況	37.5%	43.6%	53.4%	63.9%	53.5%	58.1%	84.5% (R51)	耐震化容量÷全施設容量
基幹管路耐震適合率	管路の耐震化状況	30.0%	31.1%	32.0%	50.7%	36.2%	42.5%	100% (R51)	耐震適合性基幹管路延長÷基 幹管路総延長
全管路耐震適合率	管路の耐震化状況	42.6%	43.1%	43.6%	—	47.4%	52.3%	94.2% (R51)	耐震適合性管路延長÷管路総 延長

②災害対策の推進

指標	意味	R1	R2	R3	中核市平均 (R2)	ビジョン計画値		目標 (年度)	算式
						前期 R2~R6	後期 R7~R11		
緊急遮断弁による 貯留量	危機管理対策	31,000 m ³	31,000 m ³	45,000 m ³	—	45,000 m ³	46,000 m ³	47,000m ³ (R16)	
応急給水量の確保	危機管理対策	5日分	5日分	6日分	—	6日分	6日分	7日分 (R16)	日/全市民
応急給水施設密度	危機管理対策	1.4箇所 /100km ²	1.4箇所 /100km ²	1.6箇所 /100km ²	—	1.9箇所 /100km ²	2.5箇所 /100km ²	2.5箇所 /100km ² (R16)	応急給水施設数÷(現在給水 面積÷100)

(2) 安全：いつでも「安全」で良質な水道

①給水装置における水質保持

指標	意味	R1	R2	R3	中核市平均 (R2)	ビジョン計画値		目標 (年度)	算式
						前期 R2~R6	後期 R7~R11		
鉛製給水管率	水質の保持	4.6%	4.3%	4.0%	—	3.2%	1.8%	0% (R15)	鉛製給水管使用件数÷給水栓 数

(3) 持続：将来にわたって「持続」可能な水道

①経営基盤の強化

指標	意味	R1	R2	R3	中核市平均 (R2)	ビジョン計画値		目標 (年度)	算式
						前期 R2~R6	後期 R7~R11		
経常収支比率	経営の健全性	106.4%	116.4%	117.4%	105.6%	111.8%	107.0%	100.0% (R51)	経常利益÷経常費用 ※長期前受金戻入を除く。
資金残高対事業収益比率	資金の余力度	60.9%	66.3%	73.7%	92.6%	56.3%	27.4%	44.2% (R51)	現金・預金残高等の額 ÷経常利益
企業債元利償還金対料金収入比率	債務の重さ	16.1%	17.2%	14.4%	26.8%	14.7%	15.0%	8.8% (R51)	企業債元利償還金÷料金収入
経費回収率	経営の効率性	98.3%	97.2%	109.4%	97.9%	104.2%	100.2%	100.0% (R51)	供給単価÷給水原価
経常利益対営業収益率	収益性	6.1%	15.6%	14.9%	4.7%	10.5%	6.6%	7.2% (R51)	経常損益÷営業収益 ※長期前受金戻入を除く。

②組織体制の適正化

指標	意味	R1	R2	R3	中核市平均 (R2)	ビジョン計画値		目標 (年度)	算式
						前期 R2~R6	後期 R7~R11		
職員数 (うち技術職員数)	定員の適正化	127人 【40人】	126人 【39人】	123人 【41人】	128人	120人 【37人】	118人 【35人】	101人 【33人】 (R30)	※会計年度任用職員は除く
職員一人当たりの有収水量	定員の適正化	524,264 m ³ /人	526,515 m ³ /人	534,273 m ³ /人	398,296 m ³ /人	437,995 m ³ /人	425,163 m ³ /人	400,084 (R30) m ³ /人	有収水量÷損益勘定職員数 (会計年度任用職員は除く)

③環境負荷の低減

指標	意味	R1	R2	R3	中核市平均 (R2)	ビジョン計画値		目標 (年度)	算式
						前期 R2~R6	後期 R7~R11		
浄水発生土再生利用率	資源の有効活用	42.9%	46.0%	48.6%	—	70.0%	80.0%	80.0% (R11)	再生利用土量÷浄水発生土量